終戦記念特集

平和への願い

今年も終戦記念日がやってきます。この時期になると、平和に感謝すると同時に、二度と戦争を起こしてはならないと強く思います。

さて、皆さんは『かわいそうなぞう』という童話をご存じでしょうか。かつては、小学生向けの国語教科書に採用され、絵本も多く発行されているため、一度は読んだという方も少なくないでしょう。

今回は、『広報とさやまだ昭和48年1月号』に掲載された、山田小学校2年の児童が『かわいそうなぞう』を読んで書いた感想文を掲載します。当時の小学生は、お父さん、お母さんが直接、戦争を体験している世代です。戦争が身近にあった分、今の子どもたちとは、戦争に対する考え方も少し違うのでしょうか。

ぜひ、ご一読いただき、平和の尊さを再確認していただきたいと思います。

▲広報とさやまだ 昭和48年1月号

『かわいそうなぞう』を読んだことがない方は⇐から

◆あらすじ

舞台は、第二次世界大戦中の上野動物園。連日、東京に爆弾が落とされる中、オリが壊れると猛獣たちが外へ出て大暴れする危険があるため、動物たちに毒を飲ませ、殺すことになります。ライオンやクマなどが次々と殺されていく中、3頭の象にも順番が回ってきました。最初は、暴れん坊のジョン。餌に毒を混ぜて殺そうとします。ところが、ジョンは利口であったため、毒入りの餌を食べません。毒薬を体へ注射しようにも、皮膚が厚くて刺さりません。最後は、食べ物を与えず、17日後にジョンは死んでしまいます。次は、トンキーとワンリーの順番です。2頭とも可愛い目をしている優しい象です。2頭とも餌が与えられず、段々とやせ細っていきます。見回りの人を見かけるたびに「えさをください」と見つめます。飼育員の人たちも自分の子どものようにかわいがっていた2頭ですので、張り裂けそうな思いで、オリの前をうろうろ。すると、2頭は力ない足で立ち上がり、突然、芸をはじめます。芸をすれば以前のように餌がもらえるのではないかと思ったのでしょう。やがて、この2頭も餓死してしまいました。

『かわいそうなぞう』を読んで

かわいそうなぞうの本をとしょしつで見つけたとき、ぞうがどんなになってかわいそうだろうと思いました。

ひょうしの三びきのぞうの目は、自分たちがとてもかなしいうんめいであることを、わたしの心になきかけているようで、絵を見ているだけでかわいそうになりました。

ぞうの目は、こんなにさみしそうな目をしているのでしょうか。ほいくのえんそくのとき、こうちのどうぶつえんで見たぞうの目をいっしょうけんめい思い出してみました。

読んでいくうちにわたしは、ひとりでになきじゃくって、あとからあとからなみだが出てきました。

ぞうはどんなにかなしかったでしょう。

ぞうがかりのおじさんたちも自分たちがせわをしてかわいがっているぞうが一日一日と、元気がなくなりやせおとろえていくのを見ながら、たまらなかったと思います。

「たべものをください」「えさをください」というぞうのねがいのことばに、わたしはとんでいってえさをやりたい気もちになりました。

くるしがっているものや、しにかかっているものを見ると、なんとかしてたすけてあげたいとおもうのは、あたりまえのことです。

ぞうがかりのおじさんもたすけてあげたいと思っても、それがしてやれなかったので、くるしかったと思います。

どうしてぞうをころさなくてはいけなかったのでしょう。

それはせんそうです。

どうしてせんそうをはじめたのでしょう。

ぞうがかりのおじさんたちは、ぞうやもうじゅうたちをころすことを考えないで、せんそうをやめさせることを、どうして考えなかったのでしょう。

わたしは、おとうさんや先生からせんそうのときのことを聞くけれど、せんそうはどんなものかわかりません。

でもたいふうよりも、しげとうの山くずれよりもこわいものと思います。

それは、人と人のころしあいだからです。

しげとうの山くずれや、たいふうは、人の力ではとめられないけど、せんそうは人がしているからやめられます。

わたしもせんそうがにくいです。

「村いちばんのさくらの木」のお話にでてくるさんぞうさんも、せんそうのために死んでしまいました。

せんそうのためにふこうになった人がいっぱいいるんじゃあないですか。

読んでしまってその目を思い出したとき、やっぱりこうちのどうぶつえんのぞうも、さみしそうな目をしていたように思い出しました。

それは、むかしなかまたちがひもじい思いをしてしんでしまったことをかなしがっていたかもしれません。

（山田小学校児童の読書感想文から）

香美市の平和活動

非核・平和宣言都市

核兵器の廃絶と平和を願う全ての人々と相携えて行動することを決意し、平成18年5月25日、『非核・平和都市』宣言を行い、『日本非核宣言自治体協議会』に加入しました。

平和首長会議への加盟

平成22年1月1日に『核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画』に賛同する世界各国の都市で構成されている平和首長会議に加盟しています。

ヒロシマ・ナガサキ被爆ポスター展

毎年開催しており、今年も8月2日～31日まで、市役所1階ロビー・香北支所・物部支所で『ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相等に関するポスター展』を開催します。

黙とうをささげましょう

広島原爆忌
8月6日午前8時15分
長崎原爆忌
8月9日午前11時2分
終戦記念日
8月15日正午

香美市戦没者追悼式

香美市では、毎年、戦没者の追悼式を5月に行っています。

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、10～11月に行う予定になっています。

▶昨年の追悼式の様子